

第10章 消 防 費

第10章 消 防 費

消 防 費

1 常備消防費

(1) 一般諸経費

備品購入

名 称	規 格	数 量	金額 (円)	購 入 先	契約方法
消防吏員用上下型防火衣	(株)倉本産業製 スプラウド フローネイビー	15着	3,212,000	野口酸素(株)	指名競争入札
高度シミュレーター一式	(株)高研製 LM-119P	1台	2,453,000	協和医科器械(株) 沼津支店	指名競争入札
少年消防クラブ用 防火服一式	(株)赤尾製 エミュファイター キッズ OF-1	10着	1,023,000	オブリック(株)	指名競争入札
消防用ホース(40mm)	帝国繊維(株)製 キンパイホース NEWプロファイターA 1.6MPa ロック 町野リング締め ルミライトホース	20本	1,892,000	オブリック(株)	指名競争入札
消防用ホース(65mm)		20本			

(2) 消防職員研修事業

令和4年度に導入した無人航空機(ドローン)の操作研修を受講し、大規模災害時における情報収集をはじめ、山岳救助事案等において効果的な要救助者の検索ができるよう、委託業務を次のとおり実施しました。

委 託

名 称	概 要	金額 (円)	委 託 先	契約方法
ドローン操作 研修業務委託	無人航空機(ドローン)に関する 基礎知識や操縦技能の研修	808,500	企業組合 フジヤマドローン	随意契約 (一者随契)

成果等

3人の職員が無人航空機(ドローン)に関する基礎知識及び操縦技能を習得するとともに、一般社団法人日本UAS産業振興協議会の定める無人航空機操縦に関するライセンスを取得しました。これにより、災害時等に無人航空機(ドローン)を活用した対応が可能となりました。なお、消防職員のライセンス取得者数は、6人となりました。

2 非常備消防費

消防団活動事業

(1) 備品購入

名 称	規 格	数 量	金 額 (円)	購 入 先	契約方法
消防団救助資機材 (チェンソー)	(株)マキタ製 MUC019GZ3	20	2,021,800	(株)西川	指名競争入札
消防団用ホース (65mm)	帝国繊維(株)製 SP-H-AAA キンパイファイヤー ファイティングホース	43	1,819,400	オブリック(株)	指名競争入札
消防団用ホース (50mm)		19			
消防団用ホース (40mm)		4			

(2) 消防団員健康診断

自営業者等の消防団員 (153人) のうち、健康診断を受ける機会の少ない者を対象に法定健診、HBs抗原・抗体検査、HCV抗体検査及び成人病健診として便潜血反応検査 (大腸ガン) と胃部レントゲン検査を実施しました。

検査項目	区分	受検人数 (人)	受検率 (%)	金 額 (円)	委 託 先	契約方法
視力・聴力・血圧・尿検査・胸部 X線間接撮影・心電図・生化学 検査 (肝機能・脂質)・血液一般		110	71	482,350	医療法人 社団清風会 芹沢病院	随意契約
便 潜 血 反 応 検 査		109	71	53,955		
胃 部 X 線 間 接 撮 影		82	53	270,600		
H B s 抗 原 検 査		110	71	48,400		
H B s 抗 体 検 査		110	71	48,400		
H C V 抗 体 検 査		110	71	90,750		

成果等

健康診断を受ける機会の少ない自営業者等の消防団員を対象に毎年1回健康診断を実施し、健診の結果、異常が認められた団員に対して医師の診療を受けるよう指導することにより、消防団員の健康管理の向上を図りました。

3 消防施設費

(1) 富士市・富士宮市消防指令センター管理運営事業

負担金

名 称	概 要	金 額 (円)
富士市・富士宮市消防通信 指令施設管理運営費負担金	消防通信指令事務協議会の運営経費に係る負担金	49,766,637

(2) 救急自動車購入事業

備品購入

名 称	規 格	数 量	金額 (円)	購 入 先	契約方法
高規格救急自動車	トヨタ	1台	21,620,000	峰自動車工業㈱	指名競争入札
高規格救急自動車積載 高度救命処置用資機材	—	一式	15,536,070	協和医科器械㈱ 沼津支店	指名競争入札

(3) 消防ポンプ自動車等購入事業

消防車両整備計画に基づき更新しました。

備品購入

名 称	規 格	数 量	金額 (円)	購 入 先	契約方法
芝川分署連絡車	スズキ	1台	3,198,000	峰自動車工業㈱	指名競争入札
消防ポンプ自動車 (第3分団及び第23分団)	CD-I型	2台	61,363,720	小川ポンプ工業㈱ 三島営業所	指名競争入札
資機材搬送車(第22分団)	軽4WD トラックタイプ	1台	2,198,000	峰自動車工業㈱	指名競争入札

(4) 消防ポンプ自動車等購入事業(繰越明許分)

富士宮市西消防署北分署に配備するポンプ付救助工作車及び富士宮市消防団第1分団に配備する消防ポンプ自動車について、令和4年度分を次のとおり繰り越して実施しました。

備品購入

名 称	規 格	数 量	金額 (円)	購 入 先	契約方法
ポンプ付救助工作車	日野	1台	107,766,634	㈱モリタ	指名競争入札
消防ポンプ自動車(第1分団)	CD-I型	1台	27,539,000	ジーエムいちほら工業㈱ 東京営業所	指名競争入札

(5) 消防団詰所整備事業

工 事

名 称	工種・概要	金額 (円)	受注者	契約方法
第17分団(横道)詰所 及び火の見櫓解体工事	消防団詰所解体工事	3,630,000	㈱丸芳	公募型指名競争入札

(6) 消防施設維持補修事業

工 事

名 称	工種・概要	金額 (円)	受注者	契約方法
中央消防署庁舎長寿命化工事 (長寿命化対象事業)	屋根、屋上防水、外壁等 の改修	72,534,000	明德建設㈱	事後審査型制限 付一般競争入札
中央消防署庁舎長寿命化工事 (機械設備工事)(長寿命化対象事業)	空調設備等の更新	45,452,000	㈱山桂	公募型指名競争入札

(7) その他建設事業負担金

消火栓の新設及び修繕

区 分	概 要	金 額 (円)
新 設	地下式消火栓 3基	4,147,000
修 繕	消火栓修繕等 2基	1,663,860

成果等

消防水利不足で防火水槽を設置することが難しい場所に消火栓を計画的に設置することにより、消防水利の充足と火災等の災害時に迅速に対応できるようになりました。

4 防災費

(1) 防災用資機材管理事業

地震等災害時に防災行政無線が正常に機能し、正確な情報の収集・伝達が行えるよう、保守点検を次のとおり実施しました。

委 託

名 称	概 要	金額 (円)	委 託 先	契約方法
地域防災無線保守点検業務	地域防災無線（基地局2局、中継局2局、移動局187局）保守	9,020,000	(株)門田電話工業所	指名競争入札

(2) 耐震性防火水槽設置事業

震災対策を主眼に消防水利不足地域に対し40m³型耐震性防火水槽を設置するため、三園平地区及び貫戸地区耐震性防火水槽設置工事を実施し、工事費は、合計2,544万3,000円でした。

成果等

耐震性防火水槽を消防水利不足地域に計画的に設置することにより、消防水利の充足と火災等の災害時に迅速に対応できるようになりました。

(3) 防災用施設・資機材等整備事業

備品購入

名 称	規 格	数量	金額 (円)	購 入 先	契 約 方 法
可 動 式 小 型 動 力 ポ ン プ	VF21B (C-1級)	5	8,338,000	旭産業(株)沼津営業所	指名競争入札
防 災 倉 庫 (避 難 所 用)	鍛造ステンレス石目模様 防災倉庫A-1-4型	3	11,261,800	(株)平和防災産業	指名競争入札
防 災 倉 庫 (自主防災会用)	LMD-2922	5	1,900,800	(株)西川	指名競争入札
テントトイレ	TO-LS	3	5,277,360	(株)平和防災産業	指名競争入札

成果等

災害時のトイレ不足を解消するため、車イス用のスペースを含めて7室を同時使用できるテント式トイレを男女3張ずつ購入し、3避難所に配備しました。

(4) 防災教育・訓練事業

令和3年3月に富士山ハザードマップが改定され、市内にも想定火口範囲が広がったため、富士山の避難対象エリアや、噴火前から噴火後の避難行動等について記載したマップを6万部作成し、全戸配布を実施した。

委 託

名 称	概 要	金額 (円)	委 託 先	契約方法
富士宮市富士山火山初動避難マップ作成委託業務	マップの作成、全戸配布	5,280,000	㈱中央ジオマテックス	指名競争入札

成果等

富士山火山のマップを全戸配布したことにより、富士山噴火の影響範囲や、噴火の前後にどのような行動をとればよいのかを周知し、防災意識の向上を図りました。

(5) 同報無線施設運用管理事業

同報無線の基地局及び屋外受信所（子局256か所）が正確に作動するよう点検・整備等を実施しました。

委 託

名 称	概 要	金額 (円)	委 託 先	契約方法
デジタル同報無線設備保守点検業務	デジタルの基地局・屋外受信所の保守点検	12,980,000	静岡無線サービス㈱	指名競争入札

(6) 国・県支出金を伴う運営費補助金

自主防災会運営費補助金

自主防災会の活性化を推進するため、125自主防災会に運営費補助金を交付しました。

交付額 1,427万7,000円

内 訳 5万円×125自主防災会=625万円

200円×4万135世帯=802万7,000円

(7) 各種補助金

感震ブレーカー設置費補助金

地震の揺れに伴う電気機器からの出火及び停電復旧時に起こる火災の発生を防止するため、感震ブレーカーを設置する40人に対し、補助しました。

交付額 99万5,000円

(8) 防災訓練の実施

「総合防災訓練」は、8月27日（8月の最終日曜日）に自主防災会が主体となって各地域で実施し、9月1日には、行政が主体となった災害対策本部運営訓練を実施しました。

また、12月3日の「地域防災訓練」では、自主防災会が主体となり、地域の実情に応じた様々な防災訓練を実施しました。

これらの訓練は、いずれも突発的な大規模地震の発生を想定したものですが、日頃の防災対策の確認と防災意識の高揚を図ることができました。

区 分	自主防災会数	参加人数（人）				合 計
		自主防災会	災害対策本部	防災関係機関	その他	
総合防災訓練	121	25,201	728	535	4,930	31,394人
地域防災訓練	125	23,443	52	515	1,462	25,472人

(9) 防災の啓発活動

地震防災強化月間（6月1日～6月30日）

6月を地震防災強化月間として、次のとおり防災啓発事業を実施しました。

- ア 市役所内での防災展及び静岡県地震防災センター職員による大雨災害発生時の様子を体験できるVRセット等の説明
- イ 中学校での防災訓練
- ウ 災害時地域リーダー研修会
自主防災会長、民生委員・児童委員及び主任児童委員を対象に、避難所における男女共同参画視点の防災講話をテーマに、あざれあ防災講師による講演を行いました。
また、市担当職員が、災害時の助け合い活動について説明を行いました。